

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	Angel heart の家族の会
活動テーマ	病院主催による遺族会の開催と院内コメディカルスタッフへのグリーフケアの周知

2017年11月7日開催
「グリーフケアを学ぶ会」



2018年3月6日開催
「エンゼルケア勉強会」



2018年3月6日開催
「エンゼルケア勉強会」



2018年3月10日開催
「母性、循環器棟合同による遺族へのいのちの講演会」



病棟で看護師だけで続けてきたグリーフケアを、グリーフケアに造詣の深い講師にご講演いただいて、関心を持つ院内のスタッフにケアの必要性、意義を周知したいと考えました。また、実際ご遺族に直接思いを語っていただくことで感じるいのちの尊さ、通常の医療や看護ケアの重要性を学びきっかけとなればと思い、講演会を企画しました。普段医療者中心な医療ですが、患者さんや家族を中心に協働する医療の大切さを学びました。ご遺族の体験した思いと、医療者の何気ないケアや声掛けがご遺族のその後の心の支えとなったエピソードを語っていただき、日々のケアを見直す転機となりました。ご遺族のお母様から「実際子どもに関わってもらったセンターのみなさんの前で思いを話す機会をもらえ自分自身のグリーフケアになりました。」とご感想をいただきました。

実際に研修を受けエンゼルケアに当たる看護師は少なく、エンゼルケアの院内マニュアルはないため、現在自分自身が行う曖昧なエンゼルケアを見直すきっかけにしたいと考え、株式会社公益社様に講義を依頼しました。具体的な講義を受けてこれまでのケアの不十分な点が判明し、病院で施すエンゼルケアが最期の患者さんへのケアであることがわかり、これまで以上に気を引き締めてケアしていく重要性を学びました。

母性棟遺族会と合同で、ご遺族の方々にグリーフについて、当事者の、両親だけでなくきょうだいや祖父母の受けるグリーフについても学べる機会になればと思い院外の講師の先生に依頼しました。勉強になり、また参加したい、他にも紹介したいと感想をいただきました。

1年を通して、病棟看護師だけで運営していくことの漸弱さ、経済的な問題、継続する難しさを改めて感じ、病院全体で遺族ケアを取り組み業務化していくにはどうすべきかを見直すきっかけになりました。